

# 農山漁村地域整備計画における事後評価

整備計画名	高知県森林基盤整備計画（第3期）
計画策定主体	高知県
対象市町村	室戸市、安芸市、香南市、香美市、南国市、高知市、土佐市、須崎市、四万十市、土佐清水市、宿毛市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、大豊町、本山町、土佐町、いの町、佐川町、越知町、仁淀川町、津野町、中土佐町、梶原町、四万十町、黒潮町、大月町、北川村、馬路村、芸西村、大川村、日高村、三原村（34市町村）
計画期間	令和2年度～令和6年度
<b>計画の目標</b>	
<p>森林の有する多面的機能が持続的に発揮されるよう、健全な森林へと育成するために必要な間伐等の実施や、国民のニーズに応じた多様な森林整備を効果的かつ効率的に実施するために必要な林道・作業道を自然条件や導入する作業システムに応じ整備を進める。また、自然災害等によって荒廃したあるいは荒廃しつつある被災山地の早期復旧のため治山事業や適切な森林整備を実施する。これらの施策により山村地域の重要な産業である林業及び木材産業の振興が図られるとともに、森林の有する公益的機能が発揮され、濁水や土砂の流出及び濁水等の被害から下流域の集落や漁場等の保全を図ることが出来る。</p>	
<b>定量的指標</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林施業の効率化を図るために基盤整備を推進し、高知県産業振興計画の目標値を目指す。（原木生産量：現状（H30）64.6万m<sup>3</sup> →R6目標値82.3万m<sup>3</sup>）</li> <li>・豪雨災害による被災地区、自然災害等の発生する可能性の高い地区周辺において、施設整備や森林の適正管理等を行い、山地災害防止機能を向上させる地区を第一期・第二期実績268地区から新たに119地区増加させる。</li> </ul>	
<b>整備計画の事後評価</b>	
<b>①交付対象事業の進捗状況</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林整備事業 総事業費：計画5,182,412千円→実績3,588,019千円（69.2%）</li> <li>・治山事業 総事業費：計画6,303,443千円→実績4,993,291千円（79.2%）</li> </ul>	
<b>②事業効果の発現状況</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林整備事業 森林整備事業の実施により森林整備を効果的かつ効率的に実施するために必要な林道の整備を進めることができた。その結果として、R6原木生産量の実績は69.2万m<sup>3</sup>でR6目標値の82.3万m<sup>3</sup>には届かなかったものの、H30実績の64.6万m<sup>3</sup>よりも原木生産量を増加させることができた。</li> <li>・治山事業 治山事業の実施により、林地荒廃の発生、拡大が防止された。これにより、保安林の山地災害防止機能が維持・向上されて、保全対象である公共施設等が土砂流出により被害を受ける危険性が低減された。</li> </ul>	
<b>③成果目標の目標値の実現状況</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・原木生産量： R6目標値82.3万m<sup>3</sup> → R6実績69.2万m<sup>3</sup> 全国的に原木需要量が減少し、取引価格が低迷していることにより、林業事業体の収益性が低下し、生産意欲が高まらなかったことが目標値に達しなかった主な要因と考えられる。</li> <li>・山地災害防止機能を向上させる地区： 目標値119地区 → 実績104地区（交付金内示額が想定を下回ったことにより、緊急性の高い地区を優先して事業実施したため、119地区のうち104地区が完了、15地区が事業実施中となっている。）</li> </ul>	
<b>④今後の方針</b>	
<p>今後も高知県森林基盤整備計画（第4期）に基づき、林道を整備することにより、原木運搬の低コスト化及び高性能林業機械による効率的な森林施業を実現し、林業事業体の収益性の確保、ひいては生産意欲の向上を図り、原木生産量の目標達成に取り組む。また、自然災害等によって荒廃した被災山地を復旧するための治山施設の整備を実施することにより、山地災害の防止及び早期復旧を図る。</p>	